岡山大学

学生相談室・障がい学生支援室 年報

第 2 号

(2020年度)

岡山大学高大接続・学生支援センター

目 次

- I 活動報告
 - 1. 学生相談室活動報告
 - 2. 障がい学生支援室活動報告
- Ⅱ 研究業績等一覧
- Ⅲ 高大接続・学生支援センター 学生相談室・障がい学生支援室体制
- IV 巻末資料

編集規定

I 活動報告

1. 学生相談室活動報告

◇2020 年度 学生相談室利用状況

(1) 学生相談室の利用状況概要

- ①2020 年度の学生相談室の延べ利用件数は3096 件で、前年度よりも530 件増加した。津島地区の利用件数は2910 件で、前年度と比べて825 件多かった。鹿田地区の件数は186 件で、前年度よりも159 件増加した。2020 年度は新型コロナの影響でオンライン授業や学生が登校できない時期あり、オンライン相談を利用した学生が非常に多かった事と、鹿田に非常勤カウンセラーを新規採用することができ、8月から開室日を週に1日増やしたことが、件数の大幅な増加につながった。
- ②月別の延べ利用状況では、年度初めの4月と2学期が始まる6月、年度末の2月・3月が多かった。
- ③学生相談室を初めて利用した新規来談者は334名で、年度初めの4月~6月が多かった。
- ④男女別の延べ利用状況は、学部生は男女ほぼ同じで、大学院生は男性の方が多かった。
- ⑤出身地別の利用状況は、岡山県外の出身者の方が県内の出身者より約2倍以上利用が多かった。
- ⑥学部学生では、学年別の延べ利用件数は4年生が最も多く、続いて3年生の利用件数が多かった。 学部別の利用状況では、文学部が最も多く、続いて法学部、環境理工学部、教育学部、工学部の利用件数が多かった。 昨年度に比べ、文学部と環境理工学部の利用が大幅に増加していた。
- ⑦大学院生の延べ利用件数は 538 件で、前年度の 380 件と比べ 158 件増加した。研究科別の利用状況では、自然科学研究科が最も相談件数が多く、次に環境生命科学研究科であった。
- ⑧相談内容別の延べ利用状況における主相談の分類で最も多かったのは修学相談の1309件(42.3%)で、続いて進路適性が563件(18.2%)、性格・生き方が341件(11.0%)の順に多かった。

注:表中の不明欄は、匿名や無記名のメール相談、電話相談等によるものである。

(2) 学生相談室の利用状況統計表 (津島地区・鹿田地区の合計)

1) 月別の新規・継続利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規		47	40	44	18	22	19	24	24	21	17	31	27	334
継続		247	178	326	267	181	223	237	189	225	199	238	252	2762
不明		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	294	218	370	285	203	242	261	213	246	216	269	279	3096

2) 月別の性別による利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性(学部)	137	88	163	101	71	94	91	73	77	94	145	131	1265
男性(院)	20	18	22	12	14	17	29	26	42	29	30	34	293
女性(学部)	117	94	147	148	94	109	122	93	104	76	79	97	1280
女性(院)	20	17	37	24	24	21	18	20	20	14	14	15	244
その他(学部)	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3
その他(院)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	1	0	0	0	1	1	0	2	3	1	2	11
合計	294	218	370	285	203	242	261	213	246	216	269	279	3096

3) 月別の学年別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年生	35	37	101	37	27	24	36	31	31	24	30	32	445
2年生	52	17	42	36	28	33	17	11	25	35	24	45	365
3年生	78	51	67	64	33	50	55	44	45	48	74	63	672
4年生	84	68	97	93	74	93	90	73	74	63	94	83	986
5年生以上	0	0	0	0	0	0	8	3	1	0	0	3	15
学部卒業生	5	6	4	17	2	4	8	2	6	3	2	1	60
大学院生	40	36	59	36	38	38	47	46	56	42	44	49	531
大学院卒業生	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1	0	0	8
不明	0	3	0	2	1	0	0	3	1	0	1	3	14
合計	294	218	370	285	203	242	261	213	246	216	269	279	3096

4) 月別の学部・研究科別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
文学部	52	33	45	53	31	54	66	51	53	32	30	43	543
教育学部	29	23	41	32	12	7	17	17	18	19	15	26	256
法学部	32	23	51	30	16	19	28	4	19	17	28	29	296
経済学部	25	10	12	8	4	4	4	5	15	24	39	23	173
理学部	22	14	13	18	19	17	18	8	10	7	20	16	182
医学部	7	1	12	18	17	19	6	9	7	8	14	7	125
歯学部	7	1	2	0	3	0	3	2	1	3	7	5	34
薬学部	12	5	13	9	12	24	17	6	4	12	4	7	125
工学部	25	18	32	32	16	18	10	13	20	16	24	32	256
環境理工学部	21	18	29	21	17	21	34	38	15	21	26	16	277
農学部	13	30	53	17	13	15	6	7	11	6	10	5	186
社会文化科学研究科	6	6	17	4	4	4	5	4	4	8	8	9	79
教育学研究科	0	0	0	9	5	4	5	6	6	2	5	4	46
環境生命科学研究科	14	10	8	9	5	4	6	5	15	7	6	9	98
自然科学研究科	11	10	8	3	5	17	14	23	15	19	20	17	162
医歯薬学総合研究科	9	0	10	4	11	7	0	4	9	3	0	3	60
法務研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
保健学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4
MP	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
グローバルディスカバリー	9	4	8	11	4	6	4	6	9	4	6	17	88
ヘルスシステム	0	5	4	1	0	0	7	0	2	2	5	7	33
その他	0	3	12	6	7	2	10	4	4	2	0	0	50
不明	0	4	0	0	2	0	1	1	2	4	2	4	20
合計	294	218	370	285	203	242	261	213	246	216	269	279	3096

5) 月別の出身地別利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
県内		88	64	122	96	65	75	78	79	90	75	99	86	1017
県外		178	139	224	180	121	147	173	122	145	133	154	181	1897
不明		28	15	24	9	17	20	10	12	11	8	16	12	182
	合計	294	218	370	285	203	242	261	213	246	216	269	279	3096

6) 月別の内容別利用状況(津島地区・鹿田地区の合計)

雪	(%)	/00 0 4	47.3%	10.00/	0.2%	%0 C	8 0 0	1 1 00	8 D -	700	4.2%	/0000	۶.5% ا	10.0%	% 6.0	7000	% 7.0	/6 U	۶ ۲.	1 20%	0,7.1	700	, , ,	2 00%	0.2%	/0°C	0,7.0		_	100.0%	
	ta (a	808	500	246	317	16	თ	151	190	45	84	19	52	109	229	0	വ	6	∞	25	13	0	0	37	62	101	09	1567	1529	3096	2566
	大学院	92	92	50	43	11	0	58	21	က	о	11	2	40	48	0	0	7	-	2	0	0	0	2	23	15	വ	294	244	538	298
盂	学	714	408	196	274	2	<u>о</u>	93	169	42	75	∞	20	69	181	0	വ	2	7	23	13	0	0	35	39	98	22	1273	1285	2558	2268
町	人 孙 丽	14	က	∞	т	0	0	10	9	0	0	0	0	2	က	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	15	6	
က	小 出	69	37	33	27	2	2	∞	Ξ	2	4	0	വ	0	9	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	∞	9	132	86	279	203
田	大学院	12	0	ო	-	0	0	9	2	-	0	2	0	1	က	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	2	-	30	14	69	89
2	小部	91	19	35	22	0	2	က	_	0	4	2	-	7	14	0	0	-	0	-	2	0	0	2	က	-	വ	146	79	26	18
町	大孙弨	16	2	0	0	0	0	9	0	-	-	2	0	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	ю	29	14	9	5
-	学部	53	14	25	21	-	0	_∞	7	2	5	1	8	1	16	0	0	1	2	3	0	0	0	2	4	0	-	26	9/	21	21
田	大学院	16	6	0	-	0	0	∞	0	0	4	0	0	10	9	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	8	0	43	20	46	90
12	孙恕	47	42	9	17	-	0	11	16	-	4	0	2	9	19	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	2	ო	78	105	2,	1
皿	大学院	6	6	ო	4	0	0	2	4	0	-	0	-	11	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	56	20	13	84
11	小部	45	25	7	22	-	-	6	18	-	2	0	-	3	14	0	0	0	2	0	0	0	0	9	4	-	2	73	94	21	1
町	大学院	∞	12	2	ო	0	0	4	0	0	-	3	0	2	2	0	0	9	0	-	0	0	0	0	0	0	0	29	18	61	49
10	手部	64	52	თ	თ	0	0	က	13	0	თ	0	∞	9	19	0	0	0	0	-	-	0	0	2	2	7	9	92	122	2	6
田	大小院	12	∞	-	4	0	0	2	4	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	21	242	216
6	小部	47	53	∞	16	0	0	14	10	0	4	0	9	2	6	0	0	0	0	0	-	0	0	-	7	23	ო	92	109	2	6
田	大小院	2	∞	т	2	0	0	ю	2	0	2	0	-	2	4	0	0	-	-	0	0	0	0	0	4	0	0	14	24	203	50
∞	手	31	25	14	22	0	2	4	14	9	വ	0	2	4	∞	0	വ	0	0	လ	2	0	0	က	2	9	4	71	94	2	_
皿	K	0	12	0	2	0	0	4	0	-	0	0	0	2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	12	24	285	248
7	手部	09	32	20	40	0	2	7	30	က	9	0	Ξ	11	18	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	വ	101	148	2	2
皿	大学院	က	16	14	12	0	0	ω	2	0	0	0	0	0	က	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	22	37	370	230
9	那	16	50	17	29	0	0	10	13	13	Ξ	0	9	22	35	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	21	4	163	148		
田田	\times		7	∞	က	2	0	4	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	വ	0	-	18	17	218	201
5	那一种	46	24	14	23	0	0	7	∞	4	∞	0	വ	2	4	0	0	0	0	3	വ	0	0	8	7	ი	Ξ	88	92	Ĺ	
町	\times	0		∞	∞	9	0	4	0	0	0	-	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	-	0	7 20	7 20	294	273
4	小部	82	35	∞	26	0	0	0	22	7	13	2	0	2	19	0	0	0	0	9	0	0	0	4	0	∞	2	137	117		_
	/	1 修学相談		2 進路適性		3 転学部・転専攻		4 性格・生き方		5 友人・対人関係		6 恋愛・性関係		7 心身症状		8 セクハラ		9 アカハラ		10 経済·法律		11 宗教・習慣・文化		12 家族問題		13 その他		 		合計	2019年度同月相談件数

[※] 分類の上段は男性, ト段は女性の件数を示した。 注1 件数には, 電話とメール, Zoomによる相談も含む。 注2 相談内容が複数の場合は, 主相談の内容により分類した。

(3) 学生相談室開催のセミナー等利用状況統計表(津島地区・鹿田地区の合計)

1) 学生相談室・鹿田相談室交流セミナー・キャンパスライフセミナー

	開催日	タイトル	参加人数
10月	13,14,16日	第1回津島交流セミナー「コーヒーアワー」学部新入生対象	30
10月	28日	第1回キャンパスライフセミナー「大学に花を咲かせよう」	13
11月	11日	第2回キャンパスライフセミナー「写経で無心になろう」 津島キャンパス	21
12月	1日	第2回キャンパスライフセミナー「写経で無心になろう」 鹿田キャンパス	0
2月	10日	第3回キャンパスライフセミナー「男子学生のための対人関係基礎講座(恋愛編)」	24
3月	3日	第3回キャンパスライフセミナー「男子学生のための対人関係基礎講座(恋愛編)」2回目	12

2) 学生相談室ピアサポーター養成講座

Į.	開催日	タイトル	参加人数
7月	15日	第1回ピアサポーター養成講座	2
7月	16日	第2回ピアサポーター養成講座	1
7月	30日	第3回ピアサポーター養成講座	1
10月	8日	第4回ピアサポーター養成講座	2
10月	12日	第5回ピアサポーター養成講座	2
10月	27日	第6回ピアサポーター養成講座	1
11月	17日	第7回ピアサポーター養成講座	1
12月	4日	第8回ピアサポーター養成講座	2

3) 学生相談室ピアサポーター交流セミナー

B	開催日	タイトル	参加人数
3月	23日	ピアサポーター活動報告会(オンライン)	4

4) 学生相談室ピアサポーター

本年度、学生相談室所属のピアサポーターは32名(男性13名、女性19名)だった。うち、新規の学生は12名(男性5名、女性7名)だった。学生の所属学部・大学院は、文学部、教育学部、法学部、経済学部、理学部、工学部、医学部、薬学部、環境理工学部、農学部、教育学研究科、自然科学研究科、であった。

2020年度 学生相談室活動実績一覧

		2020年度活動報告
4月	1日	・学生支援窓ロ一覧(2020年度版)作成 ・学生相談室だより春号発行
		・チェ州談主により骨号光1 ・新入生オリエンテーションでの学生相談室紹介(医学部保健学科)
	2日	・新入生オリエンテーションでの学生相談室紹介(歯学部, 医歯薬学総合研究科修士)
	211	・新入生オリエンテーションでの学生相談室紹介(医学部医学科)資料配布
	3日	・学生相談室だより春臨時号(新型コロナ対応号)発行
	6日	・新入生オリエンテーションでの学生相談室紹介(農学部)
	6日	・新入生対象大学生活に対するアンケート調査実施(農学部)
	14日	・令和2年度国立大学法人岡山大学オリエンテーション及び新任教職員研修 講師(岡山大学の学生支援について)オンライン資料
	25日	・学生相談協力委員連絡会を開催(オンライン)
	28日	・学生相談室だより臨時号(簡単レシピ特集号)発行
	_	・新入生オリエンテーションでの学生相談室紹介(医歯薬学総合研究科博士)オンライン資料配布
5月	18日~	・新入生対象呼出し面接の実施(農学部)
	22日	・社文研「社会文化学基礎論1」講師(学生相談室における学生生活相談)
	29日	・学生相談室だより臨時号(コロナ状況対処特集)発行
6月	19日	・薬学部ガイダンス科目での講演(学生相談室紹介とストレス対処について)
7月	14日	・農学部1年次対象「総合農業科学入門」内のメンタルヘルス関連講義 講師
	15日	・ピアサポーター養成講座を開講
	16日	・ピアサポーター養成講座を開講
	30日	・ピアサポーター養成講座を開講
0 0	30日	・新任の学生相談協力委員への説明会を開催
8月	4日	・学生相談室だより夏号発行 ・女子学生寮C会役員との意見交換会
	5日 21日	・メーチェ京0云伐貝との息兄又換云 ・ハラスメント防止対策室、ワークライフ・ファミリーサポート室との連絡会議を開催(メール会議)
	25日	・一部では、アープライン・ファイン・ティー・ディー・アンスのとは、アールスのでは、アールのでは、アールスのでは、アールのでは、アールので
9月	2311	同人生房手木で作引向以上にに、ピングエンル、コンファインを成為時に売れて手が1と時代
10月	8日	」 ・ピアサポーター養成講座を開講
.071	12日	・ピアサポーター養成講座を開講
	13, 14, 16日	·第1回津島交流セミナー(コーヒーアワー)学部新入生対象
	27日	・ピアサポーター養成講座を開講
	28日	・第1回キャンパスライフセミナーを開催(大学に花を咲かせよう)
11月	11日	・第2回キャンパスライフセミナーを開催(写経で無心になろう)津島キャンパス
	17日	・ピアサポーター養成講座を開講
	20日	・学生相談室だより秋号発行
	25日	・教育学研究科ハラスメント予防研修会での講演「今どきの学生の支援を考える」
	ı	・附属図書館に推薦図書リストの提供
12月	1日	・第2回キャンパスライフセミナーを開催(写経で無心になろう)鹿田キャンパス
	4日	・ピアサポーター養成講座を開講
	11日	・岡山大学広報誌「いちょう並木」の取材を受けVol.96に掲載(「コロナ禍における"こころ"のケア」)
	16日	・女子学生寮C会役員との意見交換会
1月	100	- 単たセ製字が ロルタ 日発に
2月	10日	・学生相談室だより冬号発行
2 🗖	10日	・第3回キャンパスライフセミナーを開催(男子学生のための対人関係基礎講座(恋愛編)) ・第3回キャンパスライフセミナーを開催(男子学生のための対人関係基礎講座(恋愛編))2回目
3月	3日	・第3回キャンパスラインセミナーを開催(男子子生のため)の対人関係基礎語座(恋愛編)/2回日 ・ピアサポーター活動報告会(オンライン)
	23日	・L/ソハ ̄ア ̄/山判形ロ云(オノノ1ノ/

2020年度 障がい学生支援室利用状況

2021年3月31日現在

	T	1	2.	章がレ	学生	支援室	舌動幸	告	
高 (%)	46.4%	0.0%	0.5%	0.0%	2.0%	38.3%	0.4%	12.4%	100.0%
∜ □	1314(1029)	1(93)	13(9)	(0)0	56 (121)	1084 (2577)	10(11)	351 (372)	2829 (4257)
3月	146	0	0	0	14	98	0	41	287
2月	77	0	9	0	21	53	0	29	186
1月	29	0	0	0	12	28	1	3	111
12月	66	0	0	0	4	20	8	10	167
11月	149	0	2	0	4	304	1	8	468
10月	114	0	1	0	0	247	0	25	387
月6	68	0	0	0	0	108	0	23	220
8月	109	H	0	0	0	42	0	181	333
1月	158	0	0	0	П	44	0	18	221
6月	126	0	0	0	0	59	0	5	190
5月	72	0	3	0	0	21	0	3	66
4月	112	0		0	0	42	0	5	160
期間 分類	1 修学関連	2 学生生活一般	3 施設設備関連	4 友人・対人関係	5 生き方・進路関連	6 学生サポーター関連 (ノートテイカー含)	7 物品の貸し出し	8 その他	千

注1 件数には,電話とメールによる相談も含む。

² 相談内容が複数の場合は,主相談の内容により分類した。

³ 合計の()は前年度数

⁴ 利用者の実人数は,計168名(相談学生52名,家族26名,学内関係者85名,学外関係者5名)であった(学生サポーター数は省く)。

^{5 2020}年度のオープンキャンパスは未実施であった為、相談件数は無し。

2020年度 障がい学生支援室活動実績一覧

月		行事計画
4月	_	
	_	 教養教育科目「アクセシビリティ実習」、「バリアフリーとアクセシビリティ」開講
	8 🖯	「障害者差別解消法と岡山大学版対応要領について」(2020 オリエンテーション及び新任教職員研修)
		の資料提供
		発達障害者支援センター運営事業連絡協議会参加(書面のみ)
5月	 28 ⊟	大学コンソーシアム岡山第 18 回障がい学生支援委員会(オンライン会議)
	20 🗆	人子コノソーンドム 山第 10 凹岸がい子主义接安貞云(オノノコン云磯)
6月	_	教養教育科目「障がい学生支援入門」、「アクセシビリティ実習」、「ライフスキル入門」開講
	22 ⊟	2020 年度第1回 UE-Net 運営会議•第28 回研究会
	29 ⊟	第 45 回アクセシビリティリーダー育成協議会総会
7月		
. , ,		
8月	_	講師(全国高等教育障害学生支援協議会(AHEAD JAPAN)オンラインプログラム)
	24 ⊟	障がい学生支援研修会
	31 ⊟	大学コンソーシアム岡山第 67 回企画会議、第 47 回運営委員会
9月	_	2020 年度 3・4 学期 NT シフト調整
	_	2020 年度 3·4 学期個別支援確認(授業配慮通知作成他)
	_	AL 説明会(オンデマンド配信)
	15 🖯	大学コンソーシアム岡山第 30 回代表者会議
	16 ⊟	講師(関西大学中等部高等部人権教育職員研修会)
	16 ⊟~18 ⊟	第 18 回アクセシビリティリーダーキャンプ
	25 ⊟	第 46 回アクセシビリティリーダー育成協議会総会
10月	_	教養教育科目「障がい学生支援入門」、「アクセシビリティ実習」開講
	_	文学部専門科目「人文学講義(発達心理学 a)」開講
	9 ⊟	2020 年度第 2 回 UE-Net 運営会議•第 29 回研究会
11月	_	講師(第 16 回日本聴覚障害学生高等教育支援シンポジウム オンライン特別企画)
	11 🖂	2020 年度発達障害のある学生の支援のための勉強会•話題提供
	16 ⊟•17 ⊟	講師(JASSO 障害学生支援実務者育成研修会基礎プログラム)
12月	_	
	_	文学部専門科目「人文学講義(発達心理学b)」開講
	6 ⊟	AL 認定試験(1級、2級)
	14 🕒•15 🖯	講師(JASSO 障害学生支援実務者育成研修会応用プログラム)
	19 ⊟	社会への一歩サポートフェス開催
	21⊟	第 47 回アクセシビリティリーダー育成協議会総会
	23 ⊟	2020 年度第3回 UE-Net 運営会議•第30 回研究会

1 🗆		大米十四中/大阪/ 、
1月	_	卒業式障がい学生配慮依頼(→総務)
	21 ⊟	大学コンソーシアム岡山第 19 回障がい学生支援委員会
2月	_	「バリアフリーマップ」更新
	5 ⊟	大学コンソーシアム岡山第 68 回企画会議
	17 🖯	大学コンソーシアム岡山第 48 回運営委員会
	24 ⊟	講師(大阪国際大学障がい理解のための教職員向け講習会)
3月	_	2021年度 1•2 学期 NT シフト調整
	_	2021年度入学生個別支援連絡会議
	_	入学式障がい学生配慮依頼(→総務)
	_	障がい学生支援室だより第77号発行
	_	2020 年度障がい学生支援専門部会(メール会議)
	2 ⊟~4 ⊟	第 19 回アクセシビリティリーダーキャンプ
	5 ⊟	第 48 回アクセシビリティリーダー育成協議会総会
	20 ⊟	2020 年度 第 6 回 UE-Net 総会•第 31 回 UE-Net 研究会
	29 ⊟	大学コンソーシアム岡山第 31 回代表者会議
	29 ⊟~31 ⊟	発達心理学会ポスター発表 1本

II 研究業績等一覧

2020年度 研究業績・講演会等

I 論文・学会発表等

1. 著書・研究論文等

- 松井めぐみ (2020). 大学におけるセクシュアルマイノリティ学生支援の調査-啓発活動との関連-岡山大学全学教育・学生支援機構教育研究紀要 5, 20-30.
- 寺島瞳・竹澤みどり・宮前淳子・<u>松井めぐみ</u>・宇井美代子 (2020). IPV (Intimate partner violence) 関係継続・終結の意思決定に関する性差の検討-投資モデルの観点から パーソナリティ研究 29 (2), 94-96.
- 宇井美代子・<u>松井めぐみ</u>・宮前淳子・竹澤みどり・寺島瞳 (2021). Intimate Partner Violence(IPV)被害経験 とジェンダー観 玉川大学人文科学研究センター年報『Humanitas』 12,47-56.
- 原田 新・狩長 裕・望月 直人・狩長 弘親・辻井 正次 (2020). 「平成30年7月豪雨」の 被災地・倉敷 市真備地区における保護者支援 -子育てに支援が必要な保護者に対するペアレント・プログラムの実 施- 岡山大学全学教育・学生支援機構教育研究紀要 5, 283-295.
- 原田 新・池谷航介 (2020). 大学,支援機関,行政の連携による障害者の就労移行支援に関する実践的研究-A 県内の多様な就労支援機関による合同説明会の実践を通して 高等教育と障害 2,24-33.

2. 学会発表

- ・<u>松井めぐみ</u> (2020). 大学におけるセクシュアルマイノリティ学生からの相談内容-啓発活動との関連 - 日本健康心理学会第33回大会発表論文集 PD-01.
- ・松井めぐみ・宇井美代子・宮前淳子・竹澤みどり・寺島瞳 (2020). Intimate Partner Violence (IPV) 被害経験に関する縦断的研究 (2) —IPV 被害経験が後の IPV 被害経験に及ぼす影響— 日本心理学会第84 回大会発表論文集 PC-022.
- ・竹澤みどり・寺島瞳・<u>松井めぐみ</u>・宇井美代子・宮前淳子 (2020). Intimate Partner Violence (IPV) 被害経験に関する縦断研究 (1) 一被害経験における性差の検討— 日本心理学会第 84 回大会発表論 文集 PC-021.
- ・寺島瞳・<u>松井めぐみ</u>・宇井美代子・宮前淳子・竹澤みどり (2020). Intimate Partner Violence (IPV) 被害経験に関する縦断研究 (3) —IPV 被害経験がパートナー間での社会的勢力に及ぼす影響— 日本心理学会第84回大会発表論文集 PC-023.
- ・宮前淳子・竹澤みどり・寺島瞳・<u>松井めぐみ</u>・宇井美代子 (2020). Intimate Partner Violence (IPV) 被害経験に関する縦断研究 (4) —IPV 被害経験がパートナー間での葛藤解決方略に及ぼす影響— 日本心理学会第84回大会発表論文集 PC-024.
- ・宇井美代子・宮前淳子・竹澤みどり・寺島瞳・<u>松井めぐみ</u> (2020). Intimate Partner Violence (IPV) 被害経験に関する縦断研究 (5) —IPV 被害経験が精神的健康に及ぼす影響— 日本心理学会第84 回大会発表論文集 PC-025.
- ・<u>池谷航介</u> (2020). 障害学生支援コーディネーターに求められる組織内での関係性 第 29 回日本 LD 学会大会 (WEB) p98.
- ・山根 隆宏・野上 慶子・石本 雄真・<u>原田 新</u>・日潟 淳子・田中 由佳・王 松 (2021). Miville-Guzman Universality-Diversity Scale 邦訳版の開発 (1) 翻訳過程ならびに項目分析の検討 日本発達心理学会第 31 回大会論文集 31AM1-3B-PS9.

- ・原田 新・山根 隆宏・石本 雄真・日潟 淳子・田中 由佳・王 松・野上 慶子 (2021). Miville-Guzman Universality-Diversity Scale 邦訳版の開発 (2) 因子構造および信頼性・妥当性の検討 日本発達心理学会第31回大会論文集 31AM1-3B-PS10.
- ・石本 雄真・<u>原田 新</u>・山根 隆宏・日潟 淳子・田中 由佳・王 松・野上 慶子 (2021). Miville-Guzman Universality-Diversity Scale 邦訳版の開発 (3) 回答者の属性による得点の比較 日本発達心理学会第 31 回大会論文集 31AM1-3B-PS11.
- ・<u>原田 新</u> (2020). 発達障害学生の社会的スキルと大学不適応との関連 日本心理学会第84回大会発表 論文集 PD-142.

3. 報告書等

神例康博・片岡仁美・今村維克・髙橋伸二・<u>松井めぐみ</u>・<u>池谷航介</u>・岡本睦美・横井篤文・中谷文美・樋口千草・ユジャイ ゼイネップ・山本諒平 (2020). 岡山大学における D&I の現状と課題及び第4期中期目標期間に向けた提言(中間報告) ダイバーシティ&インクルージョン企画推進委員会

4. 競争的資金等の研究課題

- 松井めぐみ 研究代表者 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 大学におけるセクシュアルマイノリティ学生への包括的支援モデル構築の検討 (課題番号 17K18640)
- <u>松井めぐみ</u> 研究分担者 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 親密な関係における暴力 (IPV)の双方向性: 発生・深刻化過程の縦断的調査研究 (課題番号 18K03091)
- 西村大樹 研究代表者 科学研究費補助金 若手研究 ASD 者に特化した就労準備性の探索と適切なアセスメント方法の開発 (課題番号 19K14417)
- <u>池谷航介</u> 研究代表者 科学研究費助成事業 挑戦的研究(萌芽) アウトドア・ツーリズムのバリアフリー化による障害者の余暇活動支援プログラムの構築 (課題番号 20K20727)
- <u>池谷航介</u> 研究分担者 科学研究費助成事業 基盤研究 (B) ダイバーシティ推進リーダー育成プログラムの開発:障害学生支援への深い学びを通じて (課題番号 20H01723)
- <u>池谷航介</u> 研究分担者 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 発達障害学生の修学支援に関するコーディネーターの役割 (課題番号 18K03066)
- 原田 新 研究代表者 科学研究費助成事業 基盤研究 (B) ダイバーシティ推進リーダー育成プログラムの開発: 障害学生支援への深い学びを通じて (課題番号 20H01723)
- 原田 新 研究代表者 科学研究費助成事業 若手研究 (B) 障がい学生支援ボランティアを行う学生を 対象とした成長支援教育プログラムの開発 (課題番号 17K17904)
- 原田 新 研究分担者 科学研究費助成事業 挑戦的研究(萌芽) アウトドア・ツーリズムのバリアフリー化による障害者の余暇活動支援プログラムの構築 (課題番号 20K20727)
- 原田 新 研究分担者 科学研究費助成事業 基盤研究 (C) 「発達障害学生向け学内アルバイトプログラムパッケージの開発」 (課題番号 20K03391)

Ⅱ 講演会・研修会・セミナー等

<学生相談室>

<u>松井めぐみ</u>, <u>西村大樹</u>, <u>門脇さやか</u> 学生相談室ピアサポーター養成講座 講師 (学生相談室主催) 2020 年 7月, 10月, 11月, 12月

- 松井めぐみ, 西村大樹 新入生オリエンテーション 講師 (農学部) 2020年4月
- 西村大樹 新入生オリエンテーション 講師 (歯学部,医学部保健学科・医学科,医歯薬学総合研究科 修士・博士) 2020年4月

<学内>

- 松井めぐみ 令和2年度国立大学法人岡山大学オリエンテーション及び新任教職員研修「岡山大学の学生 支援について」 講師 (総務・企画部人事課,全学教育・学生支援機構主催) 2020年4月
- 松井めぐみ 社会文化学基礎論 1 での講演「学生相談室における学生生活相談」講師(社会文化科学研究 科) 2020 年 5 月
- 松井めぐみ ガイダンス科目での講演「学生相談室紹介とストレス対処について」 講師 (薬学部) 2020 年6月
- 松井めぐみ 教育学研究科ハラスメント予防研修会での講演「今どきの学生の支援を考える」 講師 2020 年11月
- 松井めぐみ 令和2年度「岡山大学未来懇談会」 ファシリテーター 2021年2月
- 松井めぐみ, <u>西村大樹</u> 農学部1年次対象「総合農業科学入門」内のメンタルヘルス関連講義 講師 2020 年7月
- 池谷航介 令和3年度新入生オリエンテーション担当者研修 講師 2021年3月
- 原田 新 令和2年度国立大学法人岡山大学オリエンテーション及び新任教職員研修「障害者差別解消法と 岡山大学版対応要領について」 講師 (総務・企画部人事課、全学教育・学生支援機構主催) 2020 年4月 (WEB 研修)

<学外>

- <u>松井めぐみ</u> 「セクシュアルマイノリティの基礎知識と現状を学ぶ」講義(高大連携事業) 講師 2020 年8月
- 西村大樹 第17回日本うつ病学会総会 シンポジウム 「平成30年7月豪雨災害における岡山県公認心理師・臨床心理士協会の取り組み~倉敷市役所との連携を中心に~」 話題提供者 2021年1月
- <u>池谷航介</u> 全国高等教育障害学生支援協議会オンライン大会 2020 臨時特別企画 「コロナウィルスと障害学生支援」 講師 2020 年 8 月
- 池谷航介 堺市立五筒荘中学校校内研修 講師 2020年7月
- <u>池谷航介</u> 第16回日本聴覚障害学生高等教育支援シンポジウム 企画2「オンライン授業で変わるユニバーサルな授業作り」 講師 2020年11月
- <u>池谷航介</u> 第16回日本聴覚障害学生高等教育支援シンポジウム 企画4「オンライン授業は聴覚障害学生 支援に何をもたらしたか」 講師 2020年11月
- 池谷航介 堺市立登美丘東小学校校内研修 講師 2020年11月
- <u>池谷航介</u> 大阪国際大学 障がい理解のための教職員向け講習会 「コロナ禍における障がい学生支援」 講師 2021年2月
- 原田 新 関西大学中等部高等部人権教育職員研修会「生徒に関わる発達障害と二次障害」 講師 2020 年9月
- 原田 新 2020 年度広島県放課後児童支援員認定資格研修「児童期(6歳~12歳)の生活と発達」「障害のある子どもの理解」「特に配慮を必要とする子どもの理解」「障害のある子どもの育成支援」 講師

2020年9月

- 原田 新 2020 年度滋賀県放課後児童支援員認定資格研修「障害のある子どもの理解」「障害のある子どもの の育成支援」 講師 2020 年 11 月、2021 年 1 月
- 原田 新 おかやま発達障害者支援センター 発達障害のある学生の支援のための勉強会~青年期における切れ目のない支援にむけて~ 「発達障害のある学生への支援~学内支援体制につながる・支える~」 講師 2020年11月
- 原田 新 日本学生支援機構 令和2年度障害学生支援実務者育成研修会(基礎プログラム)「プログラム ①障害学生支援に関する基本的な考え方」 講師 2020年11月
- 原田 新 2020 年度岡山県放課後児童支援員認定資格研修「障害のある子どもの理解」「障害のある子どもの の育成支援」 講師 2020 年 11 月
- 原田 新 アリスの会 子育て応援講座「ペアレント・プログラム(振り返り)」 講師 2020年12月 原田 新 日本学生支援機構 令和2年度障害学生支援実務者育成研修会(応用プログラム)「プログラム ⑤ (演習2) 基本的支援体制・環境整備」 講師 2020年12月

Ⅲ 高大接続・学生支援センター 学生相談室・障がい学生支援室体制

全学教育・学生支援機構高大接続・学生支援センターの室に関する内規

平成31年 4月 1日 全学教育・学生支援機構 高大接続・学生支援センター長裁定

第1章 総則

(趣旨)

- 第1条 この内規は、岡山大学全学教育・学生支援機構高大接続・学生支援センター内規(平成31年機構内規第1号。以下「センター内規」という。)第14条の規定に基づき、センター内規第10条各号に掲げる室(以下「室」という。)の業務及び組織並びに各学部及び各研究科(以下「各学部等」という。)との学生支援業務の連携協力等に関し、必要な事項を定めるものとする。(業務)
- 第2条 キャリア・学生支援室は、センター内規第3条の業務のうち、次の各号に掲げる業務を担当する。
 - 一 全学キャリア教育の研究開発及び実施に関すること。
 - 二 学生の正課外活動支援に関すること。
 - 三 学生生活全般の相談に関すること。
 - 四 学生の表彰に関すること。
 - 五 全学の就職支援事業に関すること。
 - 六 学生及びポストドクター等の進路・就職相談に関すること。
 - 七 全学のインターンシップに関すること。
 - 八 学生の資格取得に関すること。
 - 九 学内及び学外就職関連機関等との連携・調整に関すること。
 - 十 企業等の情報収集並びに学生及びポストドクター等への企業等情報の提供に関すること。
 - 十一 学生及びポストドクター等の進路・就職に関する調査・分析及び統計に関すること。
 - 十二 就職支援システムの運用及び管理に関すること。
 - 十三 その他学生及びポストドクター等のキャリア形成及び就職支援に関すること。
- 2 学生相談室は、センター内規第3条の業務のうち、次の各号に掲げる業務を担当する。
 - 一 学生相談に関すること。
 - 二 学生相談等に係る調査・分析及び統計に関すること。
 - 三 学生生活への適応を促進するための教育・支援に関すること。
 - 四 学生及び研究生等からの公益通報の受付に関すること。
 - 五 第9条第1項に定める相談協力委員への指導・助言に関すること。
- 3 留学生相談室は、センター内規第3条の業務のうち、次の各号に掲げる留学生に関する業務を担当する。
 - 一 学生相談に関すること。
 - 二 学生相談等に係る調査・分析及び統計に関すること。
 - 三 学生生活への適応を促進するための教育・支援に関すること。

- 4 障がい学生支援室は、センター内規第3条の業務のうち、次の各号に掲げる業務を担当する。
 - 一 障がい学生の授業支援及び学生生活等の相談に関すること。
 - 二 障がい学生の就職・進学相談に関すること。
 - 三 障がい学生に係る諸調査・統計に関すること。
 - 四 障がい学生の支援に係る職員、学生の意識向上に関すること。
 - 五 障がい学生支援ボランティア等に関すること。
 - 六 第12条第第1項に定める修学等支援事業実施担当者及び学外障がい者支援機関等との連携・調整に関すること。
 - 七 支援物品, 関連図書等の貸し出し, 管理に関すること。
 - 八 障がい学生が利用する学内の施設・設備の改善に関すること。
- 5 スポーツ支援室は、センター内規第3条の業務のうち、次の各号に掲げる業務を担当する。
 - 一 岡山大学校友会の体育会に所属する運動部及び本学スポーツ系サークルのスポーツ支援活動 に関すること。
 - 二 スポーツ相談に関すること。
 - 三 地域のスポーツ活動の活性化に係る貢献事項に関すること。

(組織)

- 第3条 室は、次の各号に掲げる者で組織する。
 - 一 岡山大学全学教育・学生支援機構高大接続・学生支援センター(以下「センター」という。) の教員からセンター長が指名する者
 - 二 その他センター長が必要と認めた者
- 2 室に、室長を置くことができる。
- 3 室に、必要に応じて、それぞれ分室を置くことができる。

第2章 キャリア・学生支援室

(キャリアドバイザー)

- 第4条 キャリア・学生支援室に、キャリアアドバイザーを置くことができる。
- 2 キャリアアドバイザーは、次に掲げる業務を行う。
 - 一 学生の進路相談,指導
 - 二 就職活動支援(履歴書記入指導,面接指導ほか)
 - 三 求人,企業情報の収集及び処理
 - 四 その他学生の進路・就職に関する支援全般

(就職担当者)

- 第5条 各学部等に、就職担当者(以下「担当者」という。)を置き、岡山大学職業紹介業務規程(平成16年岡大規程第73号)第2条に定める紹介業務の担当者とする。
- 2 担当者は各学部等で選出し、任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。
- 3 担当者は、各学部等においてキャリア・就職支援業務を行うほか、キャリア・学生支援室からの 依頼による就職支援業務、進路相談等に応ずるものとする。

(キャリア支援サポーター)

第6条 キャリア・学生支援室に、キャリアを支援する学生サポーター(以下「キャリア支援サポー

ター」という。) を置くことができる。

- 2 キャリア支援サポーターは、キャリア・学生支援室に登録するものとする。
- 3 キャリア支援サポーターは、キャリア・学生支援室との連携の下、学生自身によるキャリア支援 行事の企画・運営・実施及びキャリア・学生支援室の行事のサポートを行う。

(学外協力者)

- 第7条 キャリア・学生支援室に、学外協力者を置くことができる。
- 2 学外協力者は、本学卒業生の中からセンター長が委嘱する。
- 3 学外協力者は、キャリア・学生支援室の要請に基づき、キャリア支援業務を支援する。

第3章 学生相談室

(臨床心理士)

- 第8条 学生相談室に、臨床心理士を置くことができる。
- 2 臨床心理士は、次に掲げる業務を行う。
 - 一 学生のカウンセリング
 - 二 その他学生相談室に関わる業務
- 3 臨床心理士はキャンパスカウンセラーと称する。

(相談協力委員)

- 第9条 学生相談室に、全学教育・学生支援機構学生相談室相談協力委員(以下「相談協力委員」という。)を置く。
- 2 相談協力委員は、次の各号に掲げる者に学長が委嘱する。
 - 一 各学部、保健学研究科及び法務研究科ごとに当該部局長から推薦された本学の教員
 - 二 学生相談室長が特に必要と認める者
- 3 相談協力委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。
- 4 相談協力委員は、学生相談室からの依頼による相談又は学生からの直接の相談に応ずるものとする。

(ピアサポーター)

- 第10条 学生相談室に、学生相談を支援する学生サポーター(以下「ピアサポーター」という。) を置くことができる。
- 2 ピアサポーターは、所定の養成プログラムを修了した者とし、学生相談室に登録するものとする。
- 3 ピアサポーターは、学生相談室との連携の下、学生自身による学生相談業務に関する行事等の企画・運営・実施及び学生相談業務のサポートを行う。

第4章 留学生相談室

(留学生支援連絡会議)

- 第11条 留学生相談室に、各留学生関係部署等と連携・協力し、留学生の教育及び学生生活の支援 に関する具体的事項を円滑に処理するため、留学生支援連絡会議(以下「連絡会議」という。)を 置くことができる。
- 2 連絡会議は、次に掲げる事項の処理に当たる。
 - 一 留学生の教育及び学生生活支援のための対応に関すること。
 - 二 各留学生関係部署との情報共有に関すること。

- 三 その他留学生の支援のために必要な事項
- 3 連絡会議は、次に掲げる者をもって組織する。
 - 一 留学生相談室に配置された専任教員
 - 二 その他センター長が必要と認めた者
- 4 連絡会議に議長を置き、センター長が指名した者をもって充てる。
- 5 議長は、会議を主宰する。
- 6 連絡会議は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聞くことができる。

第5章 障がい学生支援室

(コーディネーター)

- 第12条 障がい学生支援室に、コーディネーターを置くことができる。
- 2 コーディネーターは、次に掲げる業務を行う。
 - 一 障がい学生支援事業の実施等に係る関係者の連絡調整
 - 二 その他障がい学生支援室に関わる業務

(障がい学生支援担当者)

- 第13条 各学部等に、障がい学生支援担当者を置き、障がい学生支援室と連携・協力して、障がい学生の修学、学校生活等を支援する事業を実施するものとする。
- 2 障がい学生支援担当者は各学部等で選出し、任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 3 障がい学生支援担当者は、各学部等において障がい学生の支援事業を行うほか、障がい学生支援 室からの依頼による全学的な各種支援事業の支援に応ずるものとする。

(バリアフリーサポーター)

- 第14条 障がい学生支援室に、障がい学生を支援する学生サポーター(以下「バリアフリーサポーター」という。)を置くことができる。
- 2 バリアフリーサポーターは、所定の養成プログラムを修了した者とし、障がい学生支援室に登録するものとする。
- 3 バリアフリーサポーターは、障がい学生支援室との連携の下、学生自身による障がい学生支援業務に関する行事等の企画・運営・実施及び障がい学生支援業務のサポートを行う。

(学外協力者)

- 第15条 障がい学生支援室に、学外協力者を置くことができる。
- 2 学外協力者は、センター長が委嘱する。
- 3 学外協力者は、障がい学生支援室の要請に基づき、障がい学生支援事業を支援する。 (個別支援連絡会議)

第16条 障がい学生支援室に、障がい学生個々の教育及び学生生活の支援に関し、具体的事項を円滑に処理するため、各学部等と連携・協力し、障がい学生個別支援連絡会議(以下「個別支援連絡会議)という。)を置くことができる。

- 2 個別支援連絡会議は、障がい学生ごとに設置する。
- 3 個別支援連絡会議は、次に掲げる事項の処理に当たる。
 - 一 当該障がい学生の支援のための合理的配慮に関すること。
 - 二 障がい学生支援部会への意見具申に関すること。
 - 三 その他当該障がい学生の支援のために必要な事項

- 4 個別支援連絡会議は、次に掲げる者をもって組織する。
 - 一 当該障がい学生が所属する学部等の障がい学生支援担当者
 - 二 当該障がい学生の指導(担当)教員等
 - 三 当該障がい学生が所属する学部等の教務・学生担当者
 - 四 障がい学生支援室に配置された専任教員
 - 五 その他障がい学生支援室長が必要と認めた者
- 5 個別支援連絡会議に議長を置き、前項第1号の者をもって充てる。
- 6 議長は、個別支援連絡会議を主宰する。
- 7 個別支援連絡会議は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聞くことができる。

第6章 雑則

第17条 この内規に定めるもののほか、室の運営に関し必要な事項は、センター長が別に定めることができるものとする。

附則

- 1 この内規は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 この内規の施行日の前日において、全学教育・学生支援機構学生総合支援センターの室に関する内規(以下「旧の内規」という。)第5条第2項の規定による就職担当者、第9条第2項の規定による相談協力委員又は第13条第2項の規定による修学等支援事業実施担当者である者の任期の末日(以下「旧の内規による任期の末日」という。)が施行日以降である場合は、同人は施行日において本内規第5条第2項、第9条第2項又は第13条第2項の規定により就職担当者、相談協力委員又は修学等支援事業実施担当者に就任したものと見なし、その任期の末日は、本内規第5条第2項、第9条第3項又は第13条第2項の規定にかかわらず、施行日の前日における旧の内規による任期の末日とする。

学生相談室・障がい学生支援室 組織図

高大接続・	学生支援部門		部門長(機構教員)
学生支援		学生相談室	機構教員 2
センター			事務補佐員 1
			キャンパスカウンセラー(臨床心理士) 2
		障がい学生	機構教員 2
		支援室	機構教員 (兼務)1
			事務補佐員 1

学生相談室・障がい学生支援室 所属教職員名簿

【教 員】

職名	氏 名	在 籍
准教授	松井 めぐみ	平成 20 年 4 月 1 日 ~
准教授	原田新	平成 27 年 4 月 1 日 ~
講師	池谷 航介	平成 29 年 7 月 1 日 ~
助 教	西村 大樹	平成 30 年 7 月 1 日 ~

【事務・技術系職員】

所 職 名	氏名	在 籍
	河田 希美	平成 25 年 4 月 1 日 ~
学生支援課	門脇 さやか	平成 26 年 6 月 1 日 ~
非常勤職員	里中 由佳	平成 30 年 6 月 1 日 ~
	小枝 久美子	令和2年7月1日 ~

2020 年度 委員会等名簿

1) 高大接続・学生支援センター 障がい学生支援部会委員名簿

2020年4月1日現在

部 局	職名	氏 名
全学教育•学生支援機構	准教授	○原 田 新
全学教育・学生支援機構	講師	池 谷 航 介
全学教育・学生支援機構	准教授	松井めぐみ
保健管理センター	講師	岡部伸幸
学務部学生支援課	課長	宮脇弘善
財務部財務企画課長	課長	田 坂 知 久
社会文化科学研究科(経済)	教 授	岸田研作
グローバル人材育成院	准教授	大 林 純 子

※○は、委員長

2) 全学教育 • 学生支援機構 学生相談室相談協力委員名簿

2020年4月1日現在

所 属 等	職名	氏 名
文学部	准教授	橘 英 範
教育学部	教 授	片 山 美 香
法学部	講師	中 村 瑞 穂
経済学部	准教授	山 口 恵 子
理学部	教 授	高 橋 卓
医学部	講師	松本洋輔
歯学部	講師	久 富 美 紀
薬学部	准教授	杉 本 幸 雄
工学部	准教授	柳川佳也
環境理工学部	教 授	西村伸一
農学部	教 授	安 場 健一郎
保健学研究科	教 授	森 本 美智子
法務研究科	教 授	南川和宣
グローバル・ディスカバリー・プログラム	准教授	牛 田 英 子
全学教育・学生支援機構	准教授	原 田 新
全学教育・学生支援機構	講師	池 谷 航 介

巻末資料

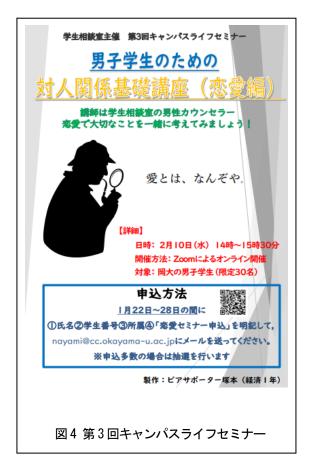
卷末資料目次

- ・図1 第1回津島交流セミナーポスター(学生相談室)
- ・図2 第1回キャンパスライフセミナーポスター (学生相談室)
- ・図3 第2回キャンパスライフセミナーポスター (学生相談室)
- ・図4 第3回キャンパスライフセミナーポスター (学生相談室)
- ・図5 学生相談室の案内ちらし(学生相談室)
- ・図6 鹿田相談室の案内ちらし (鹿田相談室)
- ・図7 ピアサポート募集ちらし (学生相談室)
- ・図8 障がい学生支援研修会チラシ (障がい学生支援室)

















岡山大学学生相談室・障がい学生支援室年報論文編集規定

- 1. 本誌は岡山大学の学生相談室・障がい学生支援室の機関誌として、年1回発行する。
- 2. 本誌の編集は、岡山大学高大接続・学生支援センター学生相談室・障がい学生支援室内にある編集委員会の責任のもとに行われる。
- 3. 本誌に掲載する論文の著者は、原則として岡山大学高大接続・学生支援センター学生相談室・障がい学生支援室に所属する教員ならびに教員と連名の研究協力者とする。ただし岡山大学高大接続・学生支援センター学生相談室・障がい学生支援室の教員または職員以外の者が、筆頭著者になる場合は、編集委員会の承認を必要とする。
- 4. 論文は未公刊のものに限る。
- 5. 論文は、編集委員会によって審査され、その掲載の可否が決定される。
- 6. 論文の原稿は、所定の執筆要項に準拠したものに限る。
- 7. 本誌に掲載された論文の著作権は、岡山大学高大接続・学生支援センター学生相談室・障がい学生支援室に帰属する。ただし内容についての責任は著者が負う。

岡山大学学生相談室・障がい学生支援室年報論文執筆要綱

- 1. 原稿は A4 サイズで作成し、1 段組(47 字×40 行)で横書きにする。枚数は原則 10 ページ以内とする。余白は上下左右 2.5cm とする。
- 2. フォントは 10.5 ポイントで日本語は MS 明朝体,英数字は Times new Roman もしくは Century を用いる。数字は半角を使用する。
- 3. 最初に題名, 英題, 著者, 所属を記載する。
- 4. 論文の構成は、原則として、要約、はじめに(問題、目的)、方法、結果、考察、引用文献の順とする。
- 5. 図表は適宜本文の中に組み込む。
- 6. その他原稿の体裁は心理学研究の「執筆・投稿の手びき (最新改訂版)」に準ずるものとする。
- 7. 印刷の体裁は編集委員会に一任すること。

編集委員長

西村 大樹 (高大接続・学生支援センター 学生相談室)

編集委員

松井 めぐみ (高大接続・学生支援センター 学生相談室長)

原田 新 (高大接続・学生支援センター 障がい学生支援室長)

池谷 航介 (高大接続・学生支援センター 障がい学生支援室)

岡山大学学生相談室・障がい学生支援室年報 第2号

(2020年度) 2021年9月1日発行

編集・発行 岡山大学高大接続・学生支援センター 学生相談室・障がい学生支援室 〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中二丁目1番1号 https://www.iess.ccsv.okayama-u.ac.jp/koudai-shien/